

大人の学びなおし第6クール 第2回「哲学」レポート

哲学的な問いの掘り下げ方

豊田工業大学 教授 江口 建 氏

冒頭に先生から「本日考えたいこと」2点が示されました。

- ①深い問いとは ②どうやって深く掘り下げるか
- 深く対話ができないことに対し、教育の観点を皮切りに解説や事例が展開されました。
- ・中学で指導実践されているかどうか国別アンケートによると以下2点が他国に比べて日本は非常に低いとのこと
「明らかな解法が存在しない課題」「批判的に考える課題」
 - ・日本人は「批判的思考」が苦手、だから質問も苦手
 - ・・・そのそも「批判」の意味を正しく捉えられていないのではないだろうか
 - ・批判（クリティカル・シンキング）とは、比べる・良否を見定める＋見分ける・区別しはっきりさせる
＝否定・非難 ではないということが示されました



クリティカルシンキングを実践することは「疑問・問題意識を持ちながら、自分自身の論証過程を検証しながら」相互理解をしていくことであり、第三者の視点を持ちつつ自分の意見を形成することが必要、と理解しました
複雑な時代で本質を見つめることは、すごく大変なことですが、目を背けずに実践していきたいと思いました

江口先生、ありがとうございました

大人の学びなおし第6クール 第2回「哲学」アンケート

受講者の声

- ・大変興味深いご講演でした、ありがとうございました
具体的な事例（課題と進め方）が分かりやすかった
- ・日本人の学力や能力は世界基準でも明らかに高く、世界でも十分に通用するものであるとは思いますが、
語学力と控えめな交渉力で足を引っ張ってしまっていると感じます
- ・哲学というと難しい印象があるが、先生の話を知っていると、哲学が面白いものに思えてきます
- ・議論の場で一方的な展開となってしまうことが多く、進め方に悩んでいたが、講義で得た知識を使っていきたいと思えます
- ・普段深掘を避けている傾向にあるので、もう少しトレーニングしようと思えます
- ・会議などのファシリテーションだけでなく、自分自身で何かを考えるときの方法としても活用したいと思いました
- ・批判的思考は、否定や非難とは異なる事は理解できました
- ・批判的な質問の視点が参考になりました。ただし日本の独自性も素晴らしいものがあったことを知りました
- ・若者が定着しないことを課題に設定されている企業様には、そもそもそれがHOWなので、
なぜ若者の定着が必要なのかを深掘りしてほしいと思いました